

国見の輝き人

～国見町で活躍する人を紹介～
vol.14

今回は1月に行われた第73回全日本バレーボール高等学校選手権(春高バレー)に出場し、ミドルブロッカーとして高さや速さ、パワフルなプレーでベスト16入りの原動力となった福島商業高校3年の工藤彰悟さんにインタビューしました。工藤さんは町のバレーボールスポーツ少年団や県北中バレーボール部で練習を重ねてきました。また、町青少年育成町民会議では、12月21日に引地真町長が工藤さんに奨励金を交付しました。



工藤 彰悟 さん
(小林)

一高校の部活動を振り返って一

1年生の時はレギュラーではなく焦りや不安もありましたが、そこから誰よりも練習することを心がけて取り組んだ結果2年生からレギュラーになることができ、そこからはコートに立ち続けることができました。部活と勉強の両立がとても大変でしたが、振り返るとバレーの技術だけではなく人間としても成長できたと思います。

一今回の全国大会に出場した感想一

初めて全国大会の会場に入ったのは1年生の時でしたが、その時は先輩たちに連れていってもらったので実感が湧きませんでした。2年生の時にコートに立ち全国の壁にぶつかり、その悔しさをバネに練習を重ねてきました。

今年度はインターハイなどが中止となり、春高バレーも開催がわからない状況の中でも気持ちを切らさずにチーム一丸となって練習に取り組み、県大会で優勝して、全国でも格上のチームに勝ちベスト16になれました。

自分自身も考えて工夫しながらプレーする持ち味を發揮してチームの勝利に貢献できました。

一今後の抱負を教えてください一

大学へ進学してもバレーを続けるつもりですが、高校の経験を生かし、ステップアップをしてまた全国の舞台に立てるようにがんばりたいです。

町の各種支援

■追い払い花火の配布

追い払いによる被害防止策として追い払い花火を産業振興課で配布しています。

■電気柵の設置補助

農作物を守るための電気柵購入費用の一部を補助します。(毎年予算がなくなり次第、終了)

※今年度分は受付終了のため4月から受付開始予定

○農業用地：事業費の2/3(上限50,000円)

○家庭菜園：事業費の1/3(上限30,000円)

■地域の取り組みを支援

地域での一体的な取り組みを促進し、地域における被害要因の可視化や対策の共有化を図るため、専門家の支援を受けながら集落環境診断の実施などを支援します。※鳥取・高瀬地区では集落環境診断を令和元年12月に実施しました。

地域の鳥獣被害を抑制するには、多くの住民の方が結束して取り組むことが必要なことから、有害鳥獣の生態や被害防止にかかる研修会などを開催します。

地域と町で対策に取り組むために

鳥獣被害に困っている方や実施隊の活動に興味のある方は気軽に産業振興課へ相談してください。

一町民の安全と農作物を守る一

鳥獣被害対策実施隊に加入しませんか

鳥獣被害対策実施隊では、有害鳥獣の捕獲などの活動を継続的に行っていますが、隊員の高齢化が進んでいます。鳥獣被害が増加傾向にある現在、次の世代の担い手となる若い力を必要としています。隊員は随時募集していますので、実施隊の活動に興味のある方はぜひ産業振興課に連絡してください。

■新規狩猟免許取得の支援

町では狩猟免許の新規取得を目指す方を支援するため、取得費用(狩猟免許受験手数料や初心者狩猟免許講習会受講料)の一部を補助しています。

各種支援には要件などがありますので、詳しくは産業振興課まで問い合わせしてください。

産業振興課産業振興係 ☎ 585-2986



地域おこし協力隊
田上 沙慧美

地域おこし協力隊活動日記 vol.7

国見の野菜・フルーツに感動の声



こんにちは、地域おこし協力隊の田上沙慧美です。今年もどうぞよろしくお願いいたします！

空き家だった一軒家に引っ越して初めての国見町の冬。水道やお風呂の凍結防止をしたり、一軒家を維持する大変さをひしひしと感じながらも、面倒くさがるの性格が少しだけ矯正された気がします。

さて、昨年10月から数名の農家さんの協力のもと始めた野菜とフルーツの定期便は、3回目の発送を終えました。お客さんからは国見のカラフル野菜に「スーパーで買う野菜では味が薄いと感じるようになった」とおいしさを実感する声やみずみずしい蜜入りりんごに「このおいしさは人生で初めて！」などの感想があり、想像以上のおいしいを届けることができました。まだまだ草の根レベルですが、国

見の野菜・フルーツのPR活動は、これからも地道に続けていきたいと思っています。

あと2か月もすると、私は任期の3年目に突入し、地域おこし協力隊としては最後の1年になります。これからの1年、国見町のおいしい素敵なものを探し、学びながら、「食」を切り口に、日常が楽しく豊かになるサービスを町の中で作っていきたくと思っています。引き続き、よろしくお願いいたします！



国見の魅力満載の定期便



里山で暮らし
続けるために

「鳥獣被害なんて自分たちには関係ない」「農家だけの問題でしょ」などと思う人もいるかもしれません。しかし、鳥獣被害は農家だけの問題ではありません。このまま放置すれば被害が拡大して、誰もが被害を受けるようになるかもしれません。自分たちの問題として認識して、地域ぐるみで鳥獣対策を続け、人が暮らす里と獣が住む山との「すみわけ」につなげることが必要です。まずは、野生動物が近寄りにくい環境づくりにみんなで取り組んでいきましょう。